

8月12日(金)発行

当日の感動を  
すぐお届け!!

特別協賛: **TOSHIBA**  
Leading Innovation >>>

ほぼ

# 日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊



## フランチャイズの東響、名伯楽とともに フェスタ最終日を華やかに!

8月11日(木・祝) 東京交響楽団フィナーレコンサート 撮影: 青柳聡

7月23日の初日、8月11日の最終日は川崎市フランチャイズオーケストラの東京交響楽団が担った。初日が楽団の今と未来を映す現音楽監督のジョナサン・ノット、最終日が歴史を体現する桂冠指揮者の秋山和慶の対照の一方では、前半が20世紀アメリカ大陸の作品、後半がベートーヴェンの傑作交響曲という構成により、美しいシンメトリーを描いた。

秋山が東響を指揮してデビューしたのは昭和39年(1964年)。前回の東京オリンピックの年だ。ベートーヴェンは最も多く手がけた作曲家のはずだが、今日の「交響曲第7番」にはレトロスペクティブ(懐古趣味)の停滞感、あるいは妙にずれた「昭和の

香り」は微塵もなかった。長年の信頼関係を基盤に隅々まで意思を通わせ、若く優秀な楽員の持ち味をソロ、合奏の両面で最大限に引き出す。メタフィジカル(形而上的)な哲学性はない代わりに、卓越した指揮法のもとらす合奏の長(おさ)、名伯楽としての英知が「巨大な室内楽」を操り、健康で力強い音楽を造形した。結末の激しい追い込みは申し分なく、アンコールに同じ作曲家の歌劇「フィデリオ」の行進曲を配した締めも決まった。

前半の白眉はクラシックのクラリネット奏者から映画音楽、ポップスの作曲に転じたナサニエル・シルクレット(1895~1982)が1940年代、スイング・ジャズの名手トミー・ドーシーの



ために書いた「トロンボーン協奏曲」の日本初演。ジャンルを超えて活躍する中川英二郎の独奏には華があり、北米での活動歴の長い秋山のサポートも万全だった。

池田卓夫(音楽ジャーナリスト)



指揮: 秋山和慶  
トロンボーン: 中川英二郎  
終演後サインをいただきました。



8/11 東京交響楽団  
フィナーレコンサート

沢山のお声を頂戴したため拡大してお届け！

お客様の声から♪

こんなに素晴らしいオーケストラを聴いたのが初めてだった。(12歳・増淵友也)／トリはやはりミュージックの看板東京交響楽団のあっぱれ名演に拍手拍手拍手。(57歳・会社員・UCCY)／シルクレットは初めて聞いたが、とても楽しい曲、オケに合っている。音楽はある日突然その良さに気づくことがあるが、今日、ベト7の第2楽章の良さに目覚めた。いい演奏をありがとうございます。(49歳・会社員・Tossie)／秋山さんが魔法使いの様にタクトを振り、フィナーレにふさわしい音楽を披露してくださいました。有難うございます！(16歳・学生・さまー)／秋山さんの指揮は10

年以上前に拝見して以来でしたが、お姿もお変わりなく、キレのある指揮で素晴らしかったです。東響さんは一番好きなオケで、今日も美音で心地良いひとときでした。(マーニャ)／中川さんのTribとろけるような甘い音色に酔いしれました。(61歳・団体職員・小憎さん)／中川さんのトロンボーンがとてもステキな音でした！(14歳・学生・Tuba)／メロウでジャジーなシルクレットを楽しみました♪(59歳・会社員・ナオパ)／上階の席でしたが、どの楽器が使われているか、奏者の表情などがよく見えるので、TVや一階席よりも演奏に来ている醍醐味がありました。(45歳・会社員・奥成洋輔)／毎年このようなサマーミュージックがあるおかげでクラシックを聴く機会も増え、東京交響楽団の方々のお顔もわかるようになりました。こんな素

敵なホールを持っている川崎を誇りに思っております。来年もよろしくお願ひします。(45歳・主婦・オクナリアヤ)／フェスタは毎年来ていますが、夏が来たと感じる。午前から聴けて(公開リハーサル)二度美味しく、お得気分だった。来年も楽しみにしている。(75歳・団体職員・ミサオちゃん)／日本の夏は戦争と平和について考える機会が多いですね。20世紀初めの戦争中の日本は灰色のイメージですが、同じころのアメリカでこんなに明るく軽快な曲が作られ、演奏されていたとは…驚きました。日常生活の中で音楽に親しめることは、いかに平和なことなのかと感じました。フェスタサマーミュージックがこれからも永く楽しめる平和な世の中が続きますように!!!(48歳・主婦・平和っていいね!)／ジョナサン・ノット氏が云われるよ

うに、東京周辺には実力のあるオケが10以上もあり、それが一期間に一堂に会して同じ会場で聴き比べができるこのような音楽祭はありませんでした。料金も安く、沢山のプログラムを聴きたくくなります。是非少しずつ拡大してください。楽しみにしています。(57歳・会社員)／来るたびに感じる“My HALL MUZA”感。他ホールへは行くことは皆無となっています。ぜひとも良いプログラムを宜しくお願いします!!(68歳・無職・SHUNちゃん)／サマーミュージックと多摩川火花で夏が終わりです。来年もまた!(バイカル)／東響から在京オケを一廻りしてまた東響へ。夏らしいサウンドがサマーミュージックのしめ括りにぴったりでした。来年もまたここで再開できる日を今から楽しみにしています。(会社員・ぜぶら)

当日の感動をすぐお届け!!

毎日  
日刊サマーミュージック  
Hobo Nikkan Summer Muza



バックナンバーは  
ミュージックホームページでも公開中!  
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>

皆様、今年のサマーミュージックはいかがでしたか?館内を鮮やかに彩るスタッフのロイヤリティと共に風のようになびいた20日間でした。チケットセンターは電話と窓口でのチケット販売が主な業務です。今年初めサマーミュージックを迎えるスタッフの直向きさを先輩スツツナガシ、心をひとつにして臨みました。ある日の終演後、わざわざ立ち寄り下さり、スタッフの電話対応について大変温かい言葉をおかけ下さいました。お客様がいらして下さることを、そのお気持ちに胸が熱くなり、これからもお客様に満足していただけるよう、接客を目指してゆきたいと思っておりました。最後となりましたが、お客様へ心より御礼申し上げます。そしてサマーミュージックに携わった全ての方へ、本当にありがとうございました。新米チーフ・スタッフ

スタッフ日誌

ほぼ日編集部より

2016年も多数のご来場ありがとうございました。2017年のラインナップは2017年3月末ごろ発表予定! どうぞお楽しみに!!!!